専修大学一般選抜前期入学試験
全学部入学試験
経済学部，法学部，経営学部，
商学部，文学部，人間科学部，
国際コミュニケーション学部
ネットワーク情報学部

セ11

2025（令和７）年度入学試験問題

国　　語

1．**試験開始の合図があるまで，この問題冊子の中を見てはいけません。**

2．試験時間は60分です。

3．この問題の本文は全部で18ページ（問題一・二）です。
ネットワーク情報学部では，問題一のみを採点の対象とします。
問題二は，ネットワーク情報学部のみを受験する方は解答しなくても結構です。
同一日に他の学部を受験する方はすべてを解答してください。

4．試験中に問題冊子の印刷不鮮明，ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は，手を挙げて監督者に知らせてください。

5．解答は，設問に従って，該当する解答欄にマークしてください。**なお，すべてマーク解答問題です。**解答にあたっては，**必ず黒の鉛筆またはシャープペンシルを使用してください。**

6．**解答用紙**に記入するときには，下記の点に注意してください。
(1) 氏名・受験番号を所定欄に記入し，該当するマーク欄を正確にマークすること。
（機械処理上，非常に重要なので誤記のないよう注意してください。）
(2) 訂正する場合は，プラスチック消しゴムで完全に消してから改めて書き直すこと。
(3) 指定した解答欄以外および枠外の空白部分には何も書かないこと。
(4) 解答用紙は，折り曲げたり汚したりしないこと。
(5) 解答用紙の解答欄をマークするときは，次の（例）のようにマーク解答欄の番号をぬりつぶすこと。

（例）　③と解答する場合

マ ー ク 解 答 欄									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

7．問題冊子の余白等は適宜利用してかまいません。

8．試験終了後，問題冊子は持ち帰ってください。

セ11

問題一（現代文）

全員が解答してください。

セ11

問題一　次の文章を読み、後の設問に答えなさい。

※問題文については著作権の関係により掲載できません。

セ11

※問題文については著作権の関係により掲載できません。

※問題文については著作権の関係により掲載できません。

セ11

※問題文については著作権の関係により掲載できません。

（本多真隆「「家庭」の誕生」による。ただし設問の都合上、一部を改変した）

問一　傍線部W「台頭」の意味として正しいものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 1 にマークしなさい。

① 価値が認められること
② 知れ渡るようになること
③ 新たな価値を生み出すこと
④ 世間に姿をあらわすこと
⑤ 勢力を増してくること

問二　傍線部X「カクトク」を漢字で書き表すとき、「カク」の訓読みとして正しいものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 2 にマークしなさい。

① え|る　② もら|う　③ おさ|める　④ とら|える　⑤ つか|まえる

問三　傍線部Y「一九五六（昭和三一）年」とあるが、この年に最も近い時期に発表された作品を次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 3 にマークしなさい。

① 「或る女」（有島武郎）
② 「金閣寺」（三島由紀夫）
③ 「伊豆の踊子」（川端康成）
④ 「夜明け前」（島崎藤村）
⑤ 「神様」（川上弘美）

問四　傍線部Z「ホソク」の「ソク」を漢字で書き表すとき、その漢字と組み合わせて二字の熟語となるものを次の①～⑥の中から一つ選び、解答欄 4 にマークしなさい。

① 縛　② 進　③ 把　④ 鉄　⑤ 充　⑥ 推

問五　傍線部A「新たな生活基盤を探る」とあるが、その説明としてもっとも適当なものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 5 にマークしなさい。

① 前近代社会の「家」のシステムを崩壊させ、人びとを「家」の身分秩序や序列から解き放つ努力をすること
② 「家」のような家業をもたない「家庭」をつくるために、「個人」と社会の結びつきを新たに論じること
③ 一家総出で働くのではなく、男性が賃金を稼ぎ、女性が家事に専念する性別役割分業を目指すこと
④ 「家」や共同体に拘束されない恋愛、外界では得がたい安らぎ、理想的な子育てや相互扶助を求めること
⑤ 近代化という社会変動のなかで、各々が描く「家庭」を実現するための新しい社会を構想すること

セ11

問六　傍線部B「「家庭」が「家族」と近い意味を持ちながらも、それとは異なるものを表現しようとする言葉であったこと」の説明として、もっとも適当なものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 6 にマークしなさい。

① 「家庭」は「近代家族」を表現する言葉として使われたが、「家族」は「近代家族」の家族像を表現できず、「家」と「近代家族」の双方の家族像を示す言葉に変わっていったということ

② 「家庭」は「近代家族」を表現する言葉として使われていたが、「家族」が「近代家族」の家族像を表現する言葉になるまでには、実際にはかなりの時間を要することになったということ

③ 「家庭」は「近代家族」を表現する言葉として使われるようになり、「家族」も「近代家族」の家族像を表現することが期待されたが、「家」の家族像を示す言葉のままであったということ

④ 「家庭」は「近代家族」を表現する言葉として使われたものの、「家族」はすぐには「近代家族」の家族像を表現できず、徐々に「家」以外の家族像を示す言葉になっていったということ

⑤ 「家庭」は「近代家族」を表現する言葉として使われており、「家族」も「近代家族」の家族像を表現することもあったが、「家」の家族像を示す言葉としても使われていたということ

セ11

問七　傍線部C「社会改革の拠点」とあるが、これと対比的に用いられている本文中の語句として、もっとも適当なものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 7 にマークしなさい。

① 実態としての「近代家族」
② 社会や国家の基盤
③ 三世代同居や祖先との結びつき
④ 性別役割分業や母親による家庭教育
⑤ 実態から遊離したイデオロギー性の強い言葉

セ11

問八　傍線部D「「家庭」という言葉は「近代家族」と分かちがたく結びついている」とあるが、その説明としてもっとも適当なものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 8 にマークしなさい。

① 実態としての「近代家族」が普及し「家庭」という言葉が「家」のような色彩をまとって用いられても、「近代家族」的な家族像が「家庭」の核になっていることが多いこと

② 既成秩序の一部となった「家庭」が「家」のニュアンスを含む言葉に変わっても、家族の愛情など近代以降に目立つようになった現象が「家庭」の核になっていることが多いこと

③ 大正期や高度経済成長期に保守系政治家が「家庭」を強調する時には、性別役割分業が支配的となった「近代家族」の家族像が「家庭」の核になっていることが多いこと

④ 近現代日本の保守系論者が「家庭」という言葉を用いる場合には、母親による家庭教育などの近代以降に目立つようになった現象が「家庭」の核になっていることが多いこと

⑤ 「家庭」という言葉が三世代同居や祖先と結びつけられて用いられるようになっても、社会改革の拠点である「近代家族」の家族像が「家庭」の核になっていることが多いこと

問九　傍線部E「これは、現在流通している言葉の意味についての文学者らしい卓見である」とあるが、山崎ナオコーラの指摘と近現代日本の「家庭」論との関わりを説明したものとして、もっとも適当なものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 9 にマークしなさい。

① 近現代日本の「家庭」論のように「個人」の解放のみを目指すのではなく、「個人」が軽んじられていることへの懸念を新たに示してはいるが、これまで論じられてきた課題を克服するにはいたっていない

② 「家庭」に役割を押しつけられている女性に着眼したことでこれまでにない論点を提示してはいるが、近現代日本の「家庭」論で論じられてきた課題に比べて特に目新しさがあるわけではない

③ 近現代日本の「家庭」論とは異なり「家庭」における女性の位置づけに焦点を当てている点に新しさはあるが、これまでの議論の繰り返しとなっている

④ これまでの「家庭」論の発想が「近代家族」的な家族像に制限されていた点に問題があることを明らかにしてはいるが、近現代日本の「家庭」論から何を引き継ぐべきかについては論じていない

⑤ 近現代日本の「家庭」論において「個人」同士の関係が見過ごされがちになっていたことに関する指摘は認められるが、「家庭」における「個人」の確立を論点としていることはこれまでとあまり変わらない

セ11

問一〇　本文の内容と合致するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 10 にマークしなさい。

① 「近代家族」を営むことが困難な人びとが増えるなかで、近現代日本の「家庭」に関する議論から私たちが引き継ぐべきものは、人びとが追い求める私的な共同性をどのように「個人」に提供できるかという問題意識である

② 従来のような「家庭」を営みたくてもできない人びとや、従来の「家庭」とは異なる生活をしたい人びとが増えるなかで、性別役割分業や異性愛のパートナー関係に限らない共同生活ができる場所を提供していかなければならない

③ 「家庭（近代家族）」から解き放たれた「個人」が増えているという問題の解決には、近現代日本の「家庭」に関する議論が「個人」の概念と連動していたことを重視して「家庭」という言葉の意味を考えていくことが必要である

④ 近現代日本の「家庭」論の課題は「家」から離れた「個人」をどのように家族や社会と結びつけるかであったが、現在は「近代家族」を営むことが困難な人びとに私的領域をどのように提供するかが新たな課題となっている

⑤ 特定の「家族」像のみがひとり歩きしている現状において、私たちはそれに惑わされることなく「個人」をひとつの出発点とすることを「家庭」に関する議論の重要な問題意識として引き継いでいくことが求められている

セ11

問題二（古文）

ネットワーク情報学部では採点の対象となりません。

ネットワーク情報学部のみを受験する方は解答しなくても結構です。

ネットワーク情報学部以外の学部を受験する方、およびネットワーク情報学部と他学部を併願している方は解答してください。

セ11

問題二　次の文章は、建礼門院（宮）に仕えた女性が書いたものである。これを読み、後の設問に答えなさい。

宮のまう(注1)のぼらせたまふ御供して帰りたる人々、物語せしほどに火も消えぬれど、炭櫃の埋み火ばかり掻き起こして、同じ心なる筋四人ばかり、「A さまざま心の内ども、かたへは残さず」など言ひしかど、思ひ思ひに下むせぶことは、まほにも言ひやらぬしも、わが心にも知られつつ、B あはれにぞ覚えし。

思ふどち夜半の埋み火掻き起こし闇のうつつに円居をぞする

誰もその心の底は数々に言ひはてねども［X］ぞありける

など思ひ続くるほどに、宮の亮(注2)の、「内の御方(注3)の番に候ひける」とて入り来て、例のあだごとも、まことしきことも、さまざまをかしきやうに言ひて、我も人もなのめならず笑ひつつ、はては、恐ろしき物語どもをしておどされしかば、まめやかにみな、汗になりつつ、「今は聞かじ。のちに」と言ひしかど、なほなほ言はれしかば、はては衣を引きかづきて、「聞かじ」とて、寝てのちに心に思ふこと、

あだごとにただ言ふ人の物語それだに心まどひぬるかな

鬼をげに見ぬだにいたくおそろしきに後の世をこそ思ひ知りぬれ

この人もよしなしごとを言ひて、「草(注4)のゆかりを何か思ひ放つ。ただ同じことと思へ」と、常に言はれしかば、

濡れそめし袖だにあるをおなじ野の露をばさのみいかが分くべき

とぞ思ひしを、大方は、憎からず言ひ交はして、「はてまでもかやうにだにもあらむ」と言はれしかば、

忘れじの契りたがはぬ世なりせば頼みやせまし君がひとこと

（「建礼門院右京大夫集」による）

（注1）まうのぼらせたまふ……天皇のところに参上なさる

（注2）宮の亮……平重衡。作者の恋人である平資盛のおじ
（注3）内の御方の番……宮中で宿直すること
（注4）草のゆかり……平重衡と平資盛が血縁であること

問一　傍線部A「さまざま心の内ども、かたへは残さず」の解釈としてもっとも適当なものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 11 にマークしなさい。

① 皆で宮についての思いを残さず語り合おう
② 宮にだけは私たちの本心をすべて聞いてほしい
③ 私たちの幼い頃の体験を一人ずつ話そう
④ 皆でふだん考えていることをすっかり話そう

問二　波線部ア～ウの「れ」の意味の組み合わせとしてもっとも適当なものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 12 にマークしなさい。

① ア 自発　イ 尊敬　ウ 尊敬
② ア 可能　イ 可能　ウ 尊敬
③ ア 可能　イ 受身　ウ 可能
④ ア 自発　イ 尊敬　ウ 自発

問三　傍線部B「あはれにぞ覚えし」について、作者がそう感じた理由としてもっとも適当なものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 13 にマークしなさい。

① 心の内をすべて言葉にするのは難しいということがわかったから
② 恋人がここにいないことに、あらためてさびしさを感じたから
③ 仲間と一緒に話をしたことですっかり悩みが消えたと感じたから
④ 火が消えてしまった炭櫃の灰を目にして、人生は無常なものだと感じたから

問四　空欄 X に入る語としてもっとも適当なものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 14 にマークしなさい。

① つらく　② をしく　③ しるく　④ さむく

問五　傍線部C「なのめならず」の意味としてもっとも適当なものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 15 にマークしなさい。

① 思慮分別をわきまえず
② ひとり残らず
③ 人目に立たないように
④ 尋常ではないほどに

セ11

問六　傍線部D「頼みやせまし」を単語に分けた場合、もっとも適当なものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 16 にマークしなさい。

① 頼み／や／せ／まし
② 頼み／や／せまし
③ 頼み／やせ／まし
④ 頼み／や／せ／ま／し
⑤ 頼み／やせまし

問七　本文の内容と合致するものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 17 にマークしなさい。

① 宮の亮から過去の失敗を人々の前ですべて暴露されてしまった作者は、恥ずかしさのあまり、衣をかぶって体を温めようとした
② 作者は宮とともに天皇のもとに参上したが、そこから帰ってみると、作者の部屋の炭櫃の火はすっかり消えていて、あたり一面、暗闇に覆われていた
③ 作者は、宮の亮からこれからも同じような関係でいようと言われたが、その言葉は信用できないという内容の歌を詠んだ
④ 宮の亮はもの知りで、宮中の政治の話から鬼の話題まで、さまざまなことを作者に語って聞かせた

セ11

問八　人物が古いものから順に並んでいるものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 18 にマークしなさい。

① 建礼門院右京大夫 ― 藤原道綱母 ― 持統天皇

② 阿仏尼 ― 建礼門院右京大夫 ― 小野小町

③ 持統天皇 ― 清少納言 ― 建礼門院右京大夫

④ 讃岐典侍 ― 和泉式部 ― 建礼門院右京大夫